

令和4年度

むかわ町児童生徒における

全国学力・学習状況調査の結果（概況）

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象児童生徒

	むかわ町	北海道（公立）	全国（公立）
小学校第6学年	40	34, 310	965, 761
中学校第3学年	48	32, 940	892, 585

※札幌市を含む

3 調査の内容

- ①教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
- ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

4 調査日時

令和4年4月19日（火）

5 概況の内容

- (1) 各教科の平均正答率の状況
- (2) 調査結果概況（教科別・問題別）の分析
- (3) 児童生徒質問紙における本町の特徴的な項目
- (4) 取組の状況と今後の取組

むかわ町教育委員会

12月

はじめに

令和4年度全国学力・学習状況調査は、令和元年度までと同様、4月に実施しました。
今年度は、国語と算数・数学に加え、理科も実施しました。

全国平均正答率との比較

小学6年生の全国学力量習状況調査正答率

	R1	R3	R4
全国	63.8	64.7	65.6
北海道	63	63	64
むかわ町	68	59	59
全国との差	4.2	▲5.7	▲6.6

小学校
国語

	H30	R4
全国	60.3	63.3
北海道	59	63
むかわ町	62	61
全国との差	1.7	▲2.3

小学校
理科

	R1	R3	R4
全国	66.6	70.2	63.2
北海道	64	67	61
むかわ町	60	64	54
全国との差	▲6.6	▲6.2	▲9.2

小学校
算数

※R2はコロナ禍のため、全国、北海道平均値が算出されていないため掲載せず

- 小学校では、令和元年度に、国語が全国より高い結果でしたが、昨年度と今年度、国語・算数ともに全国より低く、特に、今年度、算数において全国との差が大きくなりました。
- 別紙「調査結果概況」のように、対象学年において、上位層が少なく、中位から下位層にかけて多い傾向でした。本町の課題のひとつです。

中学3年生の全国学力量習状況調査正答率

	R1	R3	R4
全国	72.8	64.6	69.0
北海道	72	65	69
むかわ町	75	61	67
全国との差	2.2	▲3.6	▲2.0

中学校
国語

	H30	R4
全国	66.1	49.3
北海道	67	49
むかわ町	66	52
全国との差	▲0.1	2.7

中学校
理科

	R1	R3	R4
全国	59.8	57.2	51.4
北海道	58	56	49
むかわ町	60	54	48
全国との差	0.2	▲3.2	▲3.4

中学校
数学

※R2はコロナ禍のため、全国、北海道平均値が算出されていないため掲載せず

- 中学校では、令和元年度に全国とほぼ同じかやや高い傾向でしたが、今年度は、理科では全国を上回っているものの、国語、数学においては全国より、やや低い傾向でした。
- 別紙「調査結果概況」のように、今年度、下位層が少なくなりましたが、上位層が少ない傾向となりました。

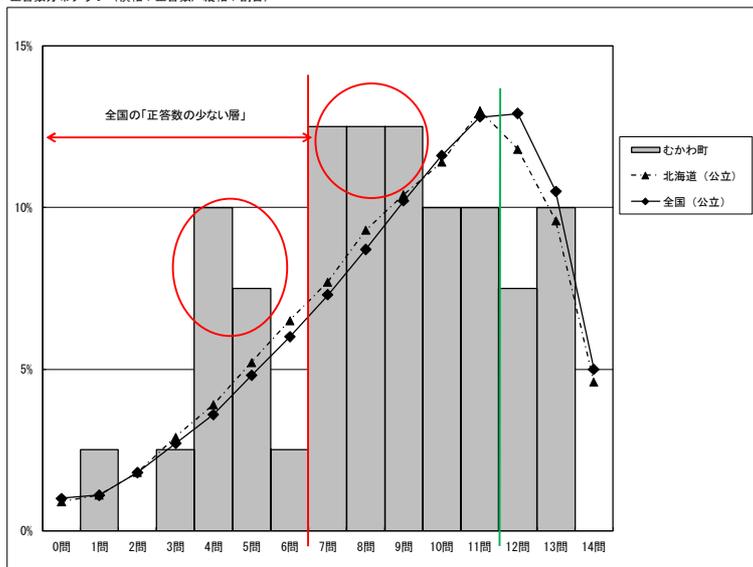
令和4年度全国学力・学習状況調査
調査結果概況 [国語]
むかわ町教育委員会－児童

小学校調査

以下の集計値グラフは、4月19日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
むかわ町教育委員会	40	8.3 / 14	59	9.0	3.1
北海道 (公立)	34,309	9.0 / 14	64	10.0	3.2
全国 (公立)	965,308	9.2 / 14	65.6	10.0	3.3

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



正答数	正答数集計値			
	児童数	割合 (%)		
	むかわ町	むかわ町	北海道 (公立)	全国 (公立)
14問	0	0.0	4.6	5.0
13問	4	10.0	9.6	10.5
12問	3	7.5	11.8	12.9
11問	4	10.0	13.0	12.8
10問	4	10.0	11.4	11.6
9問	5	12.5	10.4	10.2
8問	5	12.5	9.3	8.7
7問	5	12.5	7.7	7.3
6問	1	2.5	6.5	6.0
5問	3	7.5	5.2	4.8
4問	4	10.0	3.9	3.6
3問	1	2.5	2.9	2.7
2問	0	0.0	1.8	1.8
1問	1	2.5	1.1	1.1
0問	0	0.0	0.9	1.0

12～14問・・・17.5% 全国28.4%
7～11問・・・57.5% 全国50.6%
0～6問・・・25.0% 全国21.0%

全国と比べ、正答数の少ない層がやや多い傾向にある。

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	むかわ町	北海道 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	11.0問	12.0問	12.0問
◇ 第2四分位	9.0問	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	7.0問	7.0問	7.0問

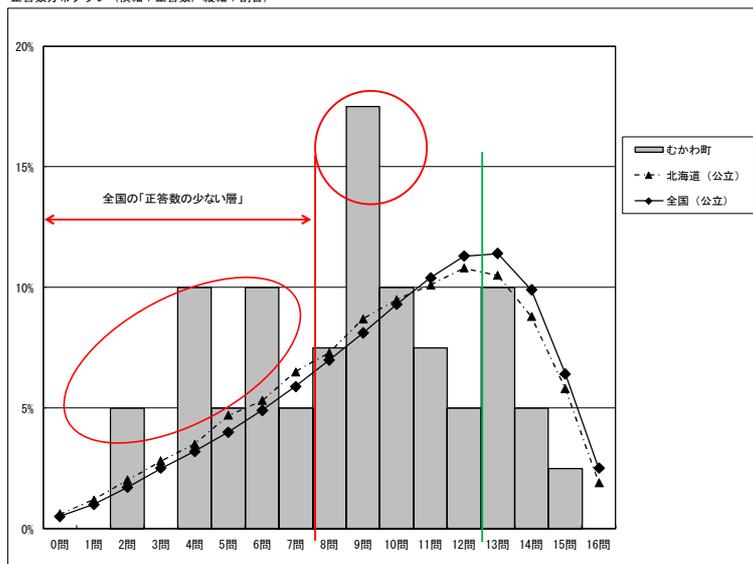
令和4年度全国学力・学習状況調査
調査結果概況 [算数]
むかわ町教育委員会－児童

小学校調査

以下の集計値グラフは、4月19日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
むかわ町教育委員会	40	8.7 / 16	54	9.0	3.4
北海道 (公立)	34,304	9.8 / 16	61	10.0	3.7
全国 (公立)	965,431	10.1 / 16	63.2	11.0	3.6

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



正答数	正答数集計値			
	児童数	割合 (%)		
	むかわ町	むかわ町	北海道 (公立)	全国 (公立)
16問	0	0.0	1.9	2.5
15問	1	2.5	5.8	6.4
14問	2	5.0	8.8	9.9
13問	4	10.0	10.5	11.4
12問	2	5.0	10.8	11.3
11問	3	7.5	10.1	10.4
10問	4	10.0	9.5	9.3
9問	7	17.5	8.7	8.1
8問	3	7.5	7.3	7.0
7問	2	5.0	6.5	5.9
6問	4	10.0	5.3	4.9
5問	2	5.0	4.7	4.0
4問	4	10.0	3.5	3.2
3問	0	0.0	2.8	2.5
2問	2	5.0	2.0	1.7
1問	0	0.0	1.2	1.0
0問	0	0.0	0.6	0.5

13～16問・・・17.5% 全国30.2%
8～12問・・・47.5% 全国46.1%
0～7問・・・35.0% 全国23.7%

全国と比べ、正答数の少ない層が多い傾向にある。

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	むかわ町	北海道 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	11.0問	13.0問	13.0問
◇ 第2四分位	9.0問	10.0問	11.0問
▽ 第1四分位	6.0問	7.0問	8.0問

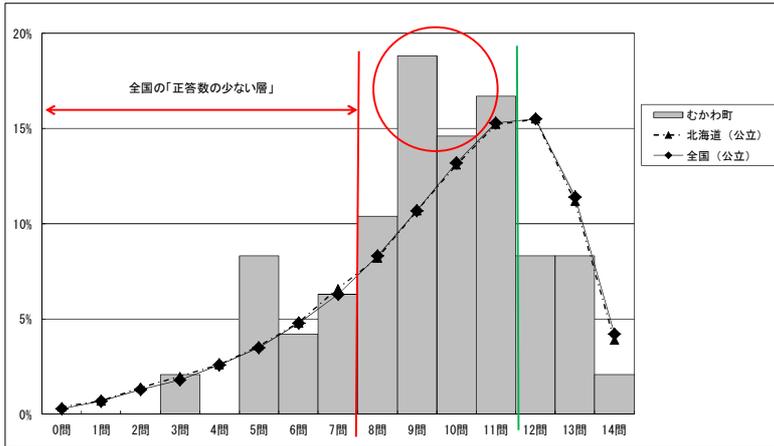
令和4年度全国学力・学習状況調査
調査結果概況 [国語]
むかわ町教育委員会一生徒

中学校調査

以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
むかわ町教育委員会	48	9.4 / 14	67	10.0	2.5
北海道 (公立)	32,910	9.6 / 14	69	10.0	3.0
全国 (公立)	891,820	9.7 / 14	69.0	10.0	2.9

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



正答数	正答数集計値			
	生徒数	割合 (%)	北海道 (公立)	全国 (公立)
14問	1	2.1	3.9	4.2
13問	4	8.3	11.2	11.4
12問	4	8.3	15.5	15.5
11問	8	16.7	15.2	15.3
10問	7	14.6	13.1	13.2
9問	9	18.8	10.7	10.7
8問	5	10.4	8.2	8.3
7問	3	6.3	6.6	6.3
6問	2	4.2	4.8	4.8
5問	4	8.3	3.6	3.5
4問	0	0.0	2.6	2.6
3問	1	2.1	2.0	1.8
2問	0	0.0	1.4	1.3
1問	0	0.0	0.7	0.7
0問	0	0.0	0.4	0.3

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	むかわ町	北海道 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	11.0問	12.0問	12.0問
◇ 第2四分位	10.0問	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	8.0問	8.0問	8.0問

12～14問・・・18.7% 全国31.1%
8～11問・・・60.5% 全国47.5%
0～7問・・・20.9% 全国21.3%

全国と比べ、中間が多く、正答数の多い層が少ない傾向にある。

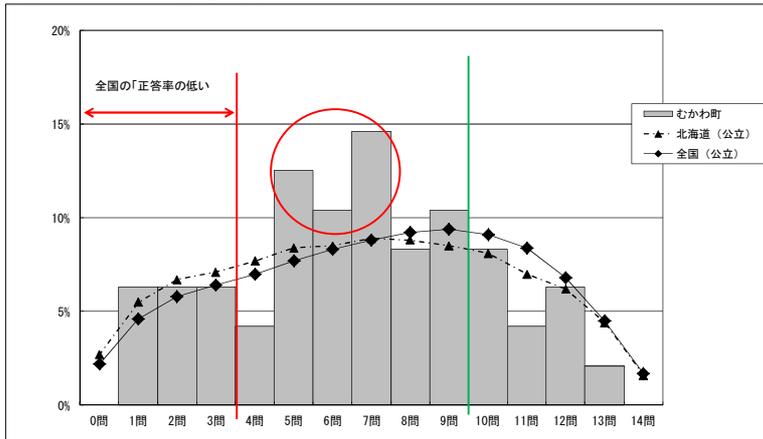
令和4年度全国学力・学習状況調査
調査結果概況 [数学]
むかわ町教育委員会一生徒

中学校調査

以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
むかわ町教育委員会	48	6.7 / 14	48	7.0	3.2
北海道 (公立)	32,905	6.9 / 14	49	7.0	3.7
全国 (公立)	891,913	7.2 / 14	51.4	7.0	3.6

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



正答数	正答数集計値			
	生徒数	割合 (%)	北海道 (公立)	全国 (公立)
14問	0	0.0	1.6	1.7
13問	1	2.1	4.4	4.5
12問	3	6.3	6.2	6.8
11問	2	4.2	7.0	8.4
10問	4	8.3	8.1	9.1
9問	5	10.4	8.5	9.4
8問	4	8.3	8.8	9.2
7問	7	14.6	8.9	8.8
6問	5	10.4	8.5	8.3
5問	6	12.5	8.4	7.7
4問	2	4.2	7.7	7.0
3問	3	6.3	7.1	6.4
2問	3	6.3	6.7	5.8
1問	3	6.3	5.5	4.6
0問	0	0.0	2.7	2.2

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

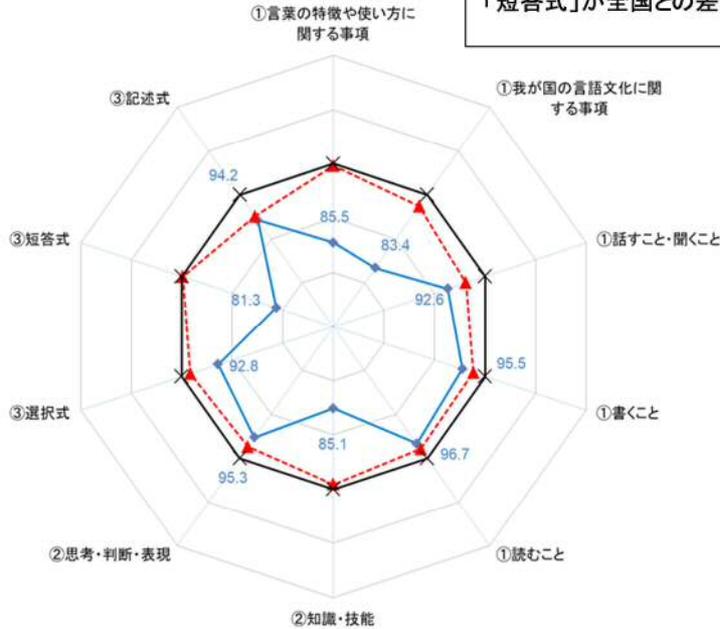
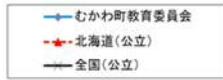
	むかわ町	北海道 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	9.0問	10.0問	10.0問
◇ 第2四分位	7.0問	7.0問	7.0問
▽ 第1四分位	5.0問	4.0問	4.0問

10～14問・・・20.9% 全国30.5%
4～9問・・・60.4% 全国50.4%
0～3問・・・18.9% 全国19.0%

全国と比べ、中間が多く、正答率の高い層が少ない傾向にある。

教科の概況 ～レーダーチャート図～

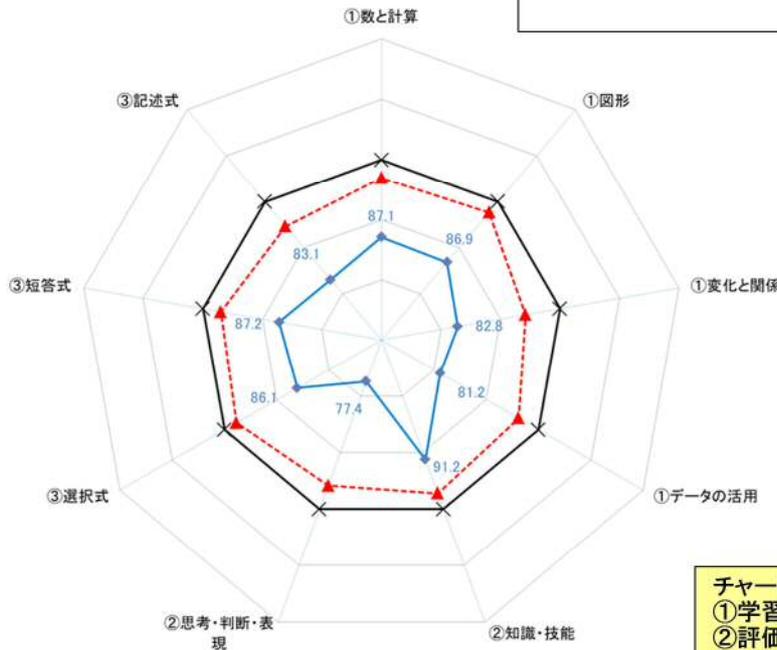
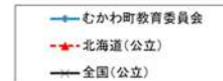
小学校 国語



傾向

・領域では「書くこと」「読むこと」が全国に近い傾向ですが、「言葉の特徴や使い方」「我が国の言語文化」に関しては低い傾向です。
 ・評価の観点では「知識・技能」、問題形式では「短答式」が全国との差が大きい傾向です。

小学校 算数

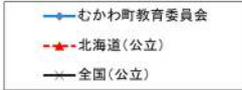


傾向

・領域・評価の観点・問題形式の全般にわたり全国・全道より低い傾向です。
 ・特に、領域では「変化と関係」「データの活用」が低く、評価の観点では「思考・判断・表現」において全国との差が大きい傾向です。

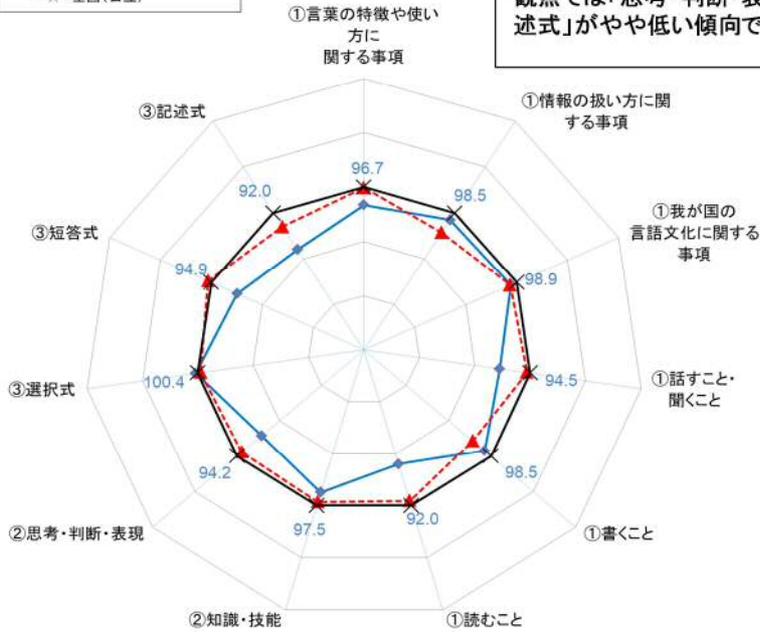
チャート図における分類
 ①学習指導要領の領域
 ②評価の観点
 ③問題形式

中学校 国語

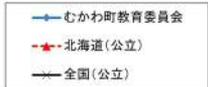


傾向

・全般にわたり全国に近い傾向にありますが、領域では「読むこと」「話すこと・聞くこと」、評価の観点では「思考・判断・表現」、問題形式では「記述式」がやや低い傾向です。

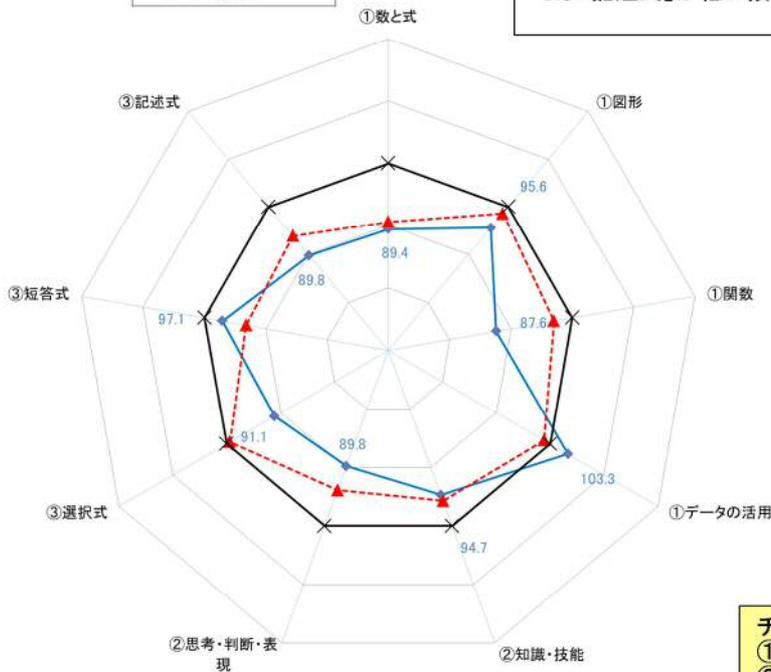


中学校 数学



傾向

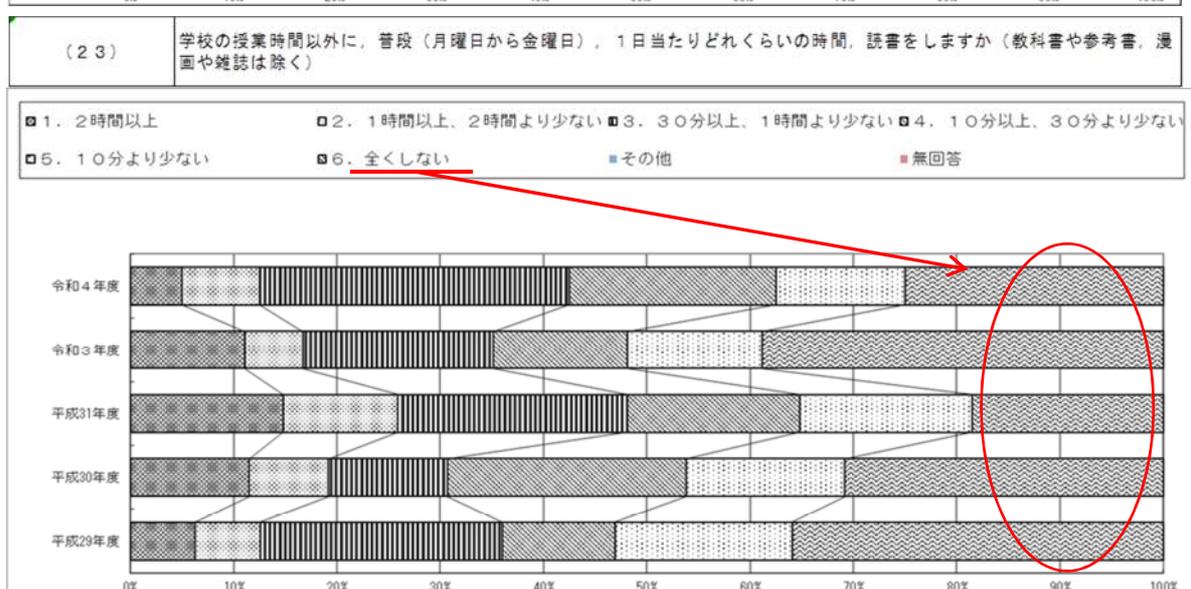
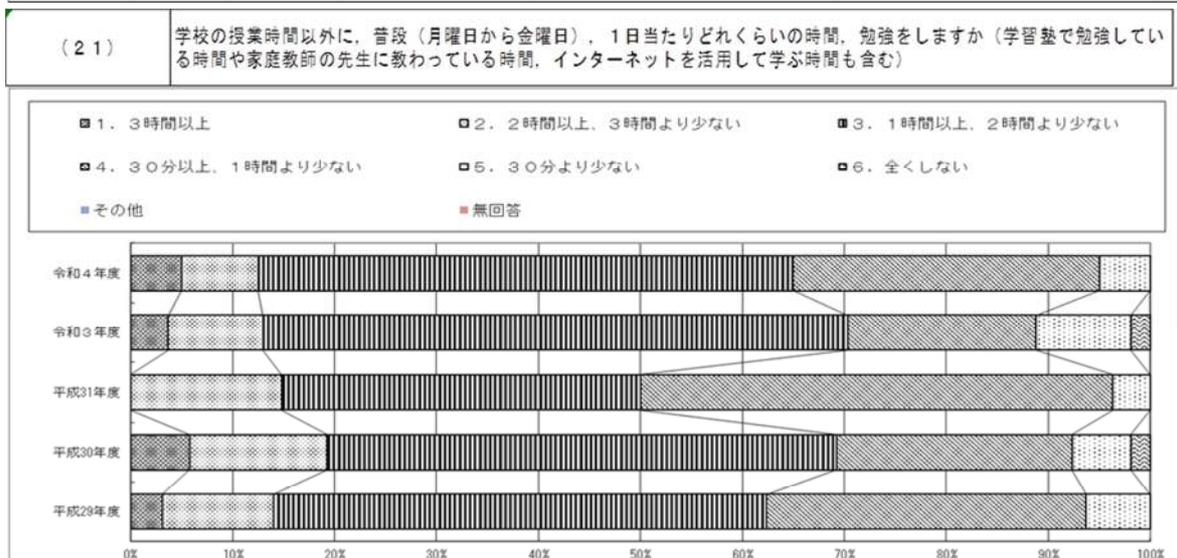
・領域では「データの活用」が全国より高い傾向ですが、「数と式」「関数」では低い傾向です。
・評価の観点では「思考・判断・表現」、問題形式では「記述式」が低い傾向です。



チャート図における分類
①学習指導要領の領域
②評価の観点
③問題形式

児童質問紙における本町の特徴的な事項（小学校）

（1）経年変化から見る特徴的な傾向について



(2) 全国との比較から見る傾向

番号	質問事項	全国との比較
(1)	朝食を毎日食べていますか	「している どちらかといえば、している」の合計が97.5%であり、全国とほぼ同様で高い傾向です。
(6)	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)	「3時間以上」の回答が30%で、全国(20%)より高い傾向です。
(7)	自分には、よいところがあると思いますか	「当てはまる どちらかといえば、当てはまる」の合計が72.5%であり、全国(79.3%)よりやや低い傾向です。
(20)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	「よくしている ときどきしている」の合計が77.5%であり、全国(71.1%)よりやや高い傾向です。
(49)	国語の勉強は好きですか	「当てはまる どちらかといえば、当てはまる」の合計が62.5%であり、全国とほぼ同様の傾向です。
(51)	国語の授業の内容はよく分かりますか	「当てはまる どちらかといえば、当てはまる」の合計が82.5%であり、全国とほぼ同様の傾向です。
(53)	算数の勉強は好きですか	「当てはまる どちらかといえば、当てはまる」の合計が65%であり、全国とほぼ同様の傾向です。
(55)	算数の授業の内容はよく分かりますか	「当てはまる どちらかといえば、当てはまる」の合計が75%であり、全国(81.2%)よりやや低い傾向です。

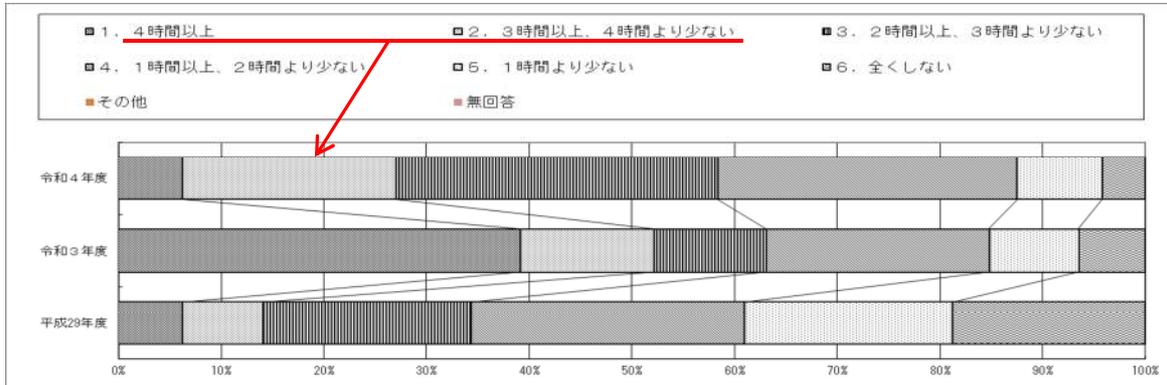
(3) 児童質問紙からみた全体的な傾向(小学校)

<ul style="list-style-type: none"> 「平日1日当たりのテレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマホを使ったゲームなど)の時間では、「4時間以上」の回答が45%であり、本町の昨年度と比べると2倍近く、平成29年度と比べると3倍近くになっています。また、全国の回答は17.2%で、本町の子どものテレビゲームの長さは課題といえます。 「平日1日当たり、携帯電話やスマホでのSNSや動画視聴の時間は、「3時間以上」の回答が30%で全国(20%)より高く、「4時間以上」では22.5%と全国のほぼ倍となっており、テレビゲームの時間とあわせ、電子メディアにかかわる時間の長さが顕著です。 読書では、「全くしない」の回答が25%で、過去5年間の中では少ない傾向で、全国(26.3%)とほぼ同様の傾向ですが、4人にひとりが学校以外での読書をしないという状況が本町でも見られます。 家庭学習の時間では、「1時間以上」の回答が60%以上と全国よりも高く、計画を立てて学習している割合も全国より高い傾向です。また、国語と算数の「勉強が好き・授業内容が分かる」では、算数の授業が「よく分かる」の回答が全国よりやや低いですが、他については全国とほぼ同様の傾向です。

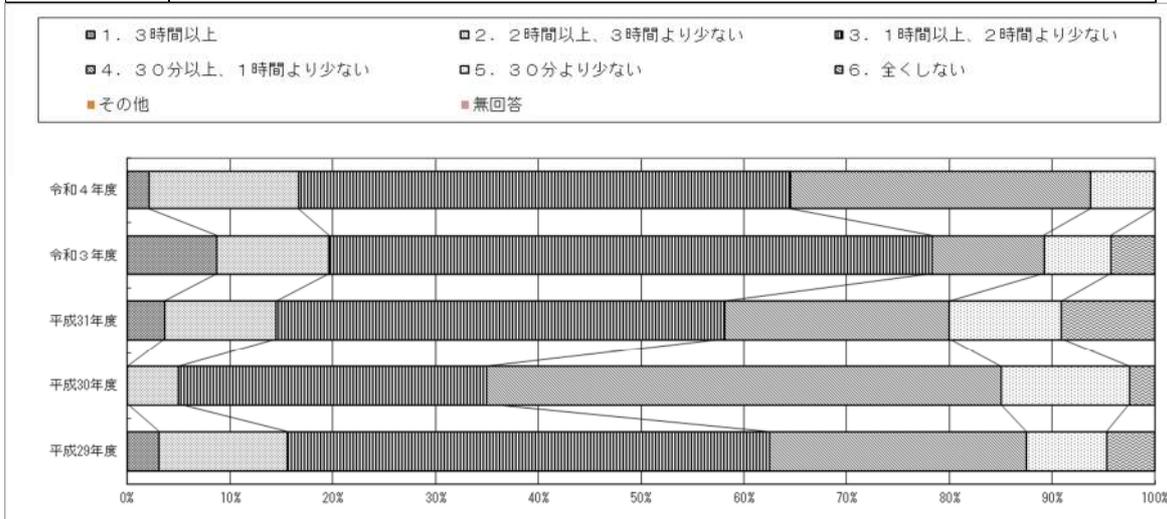
生徒質問紙における本町の特徴的な事項（中学校）

(1) 経年変化から見る特徴的な傾向について

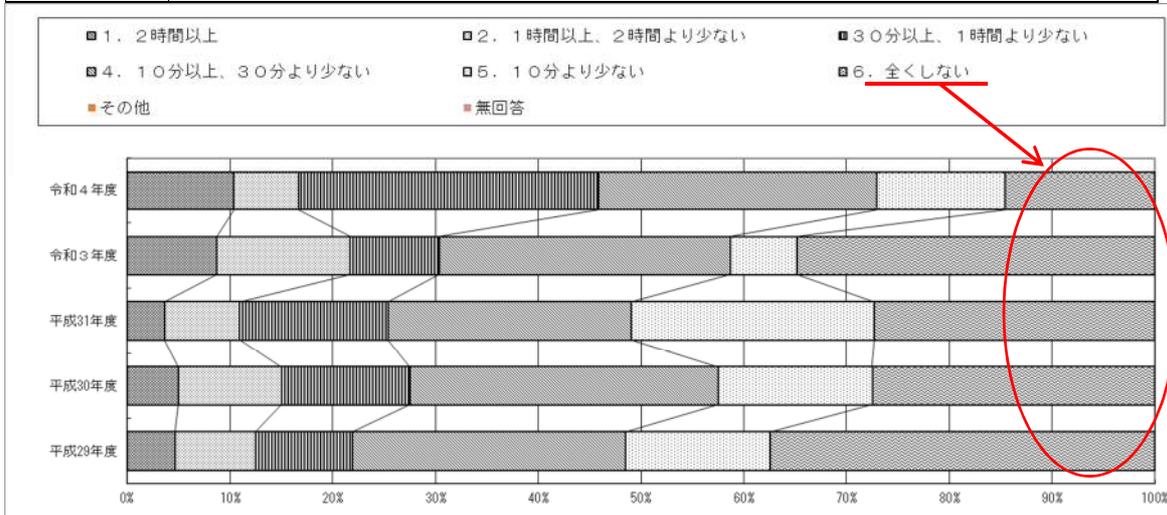
(5)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか
-----	--



(21)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
------	--



(23)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
------	---



(2) 全国との比較から見る傾向

番号	質問事項	全国との比較
(1)	朝食を毎日食べていますか	「している どちらかといえば、している」の合計が95.8%であり、全国とほぼ同様に高い傾向です。
(6)	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)	「3時間以上」の回答が18.8%で、全国(29.5%)より少ない傾向です。
(7)	自分には、よいところがあると思いますか	「当てはまる どちらかといえば、当てはまる」の合計が85.4%であり、全国(78.5%)よりやや高い傾向です。
(20)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	「よくしている ときどきしている」の合計が54.2%であり、全国とほぼ同様の傾向です。
(49)	国語の勉強は好きですか	「当てはまる どちらかといえば、当てはまる」の合計が72.9%であり、全国(61.9%)より高い傾向です。
(51)	国語の授業の内容はよく分かりますか	「当てはまる どちらかといえば、当てはまる」の合計が(98%)であり、全国(81.2%)より16ポイント以上高い傾向です。
(53)	数学の勉強は好きですか	「当てはまる どちらかといえば、当てはまる」の合計が45.9%であり、全国(58.1%)より低い傾向です。
(55)	数学の授業の内容はよく分かりますか	「当てはまる どちらかといえば、当てはまる」の合計が72.9%であり、全国(76.2%)とほぼ同様の傾向です。

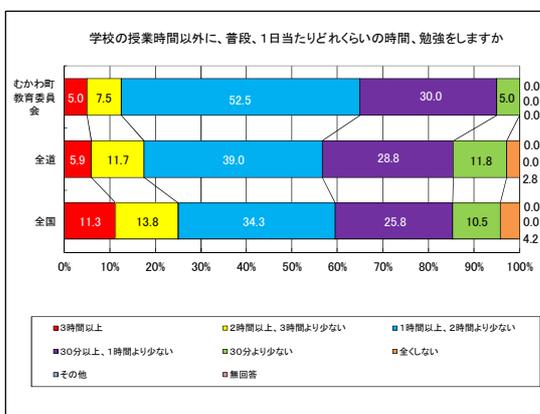
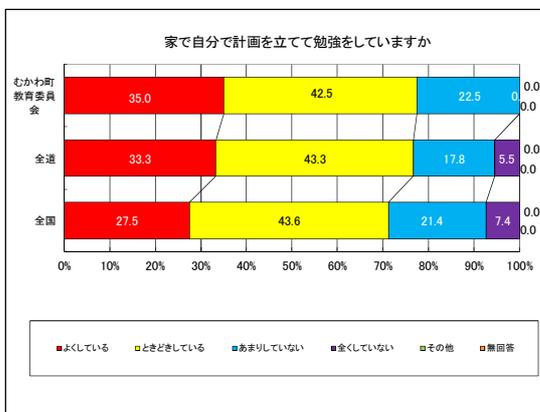
(3) 生徒質問紙からみた全体的な傾向(中学校)

<ul style="list-style-type: none"> ・「平日1日当たりのテレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマホを使ったゲームなど)の時間では、「3時間以上」の回答が27.1%で、昨年度の半分以下と少なく、全国とほぼ同様の傾向です。 ・「平日1日当たり、携帯電話やスマホでのSNSや動画視聴の時間でも、「3時間以上」の回答が18.8%で全国(29.5%)より少なく、「4時間以上」では全国の三分の一以下と少ない傾向です。今年度、学習以外の電子メディアにかかわる時間は少ない状況であるといえます。 ・読書では、「全くしない」の回答が14.6%で、過去5年間の中では最も少なく、全国(39%)と比べても大幅に少ない傾向です。約半数近くが1日30分以上の読書をしている状況です。 ・家庭学習の時間では、「2時間以上」や「1時間以上」の回答においては、過去の傾向と大きな違いはありませんが、全国と比べると「2時間以上」の回答が全国の半数以下と少ない傾向です。また、国語の「勉強が好き・授業内容が分かる」では、全国より高い傾向ですが、算数の「勉強が好き」の回答が全国より低い傾向です。

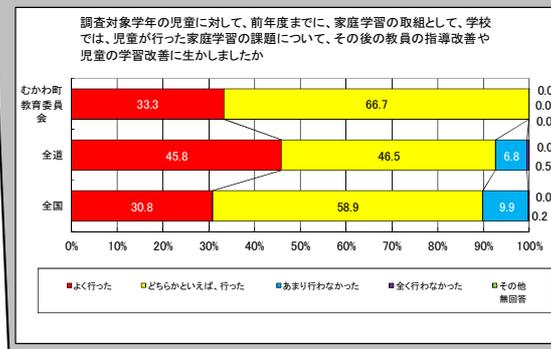
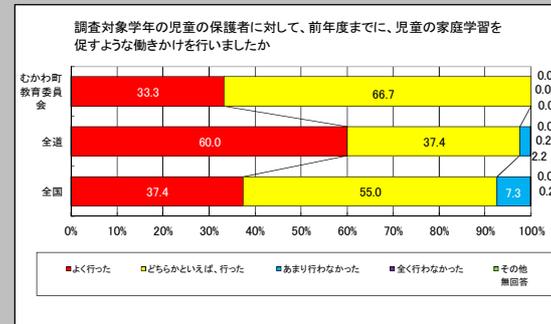
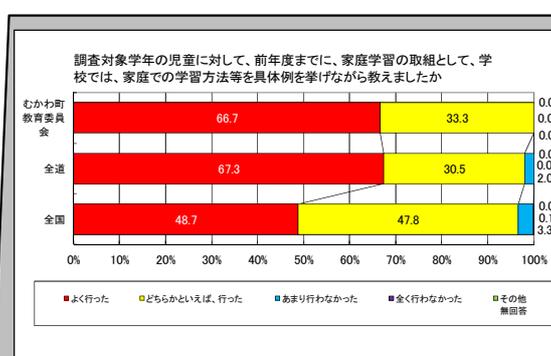
児童生徒質問紙と学校質問紙の関連（小学校）

【家庭学習】

<児童質問紙>



<学校質問紙>



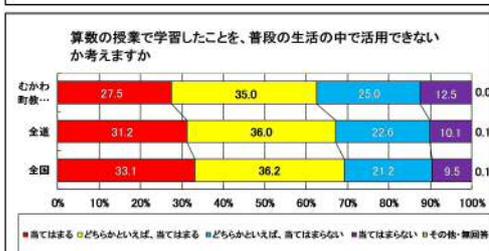
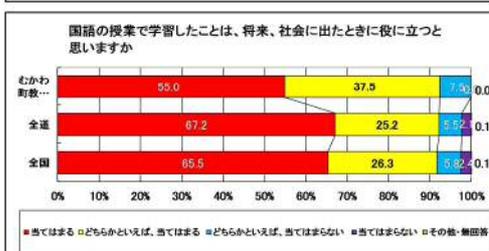
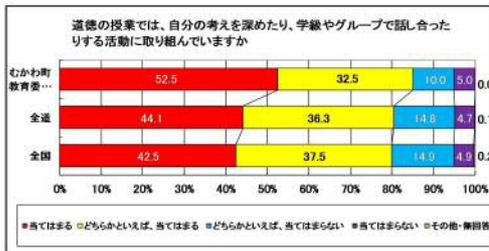
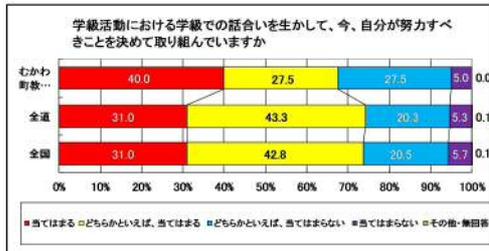
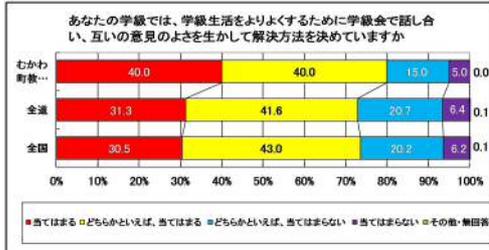
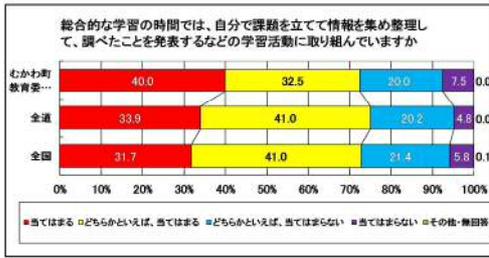
【児童質問紙と学校質問紙の関連における顕著な傾向】

○「学校の授業以外の1日当たりの勉強時間」について、全くしていない児童はゼロで、1時間以上学習している児童は全国より多い傾向です。これは、「家庭学習に対する働きかけ」を各学校で工夫していることが要因の一つと考えられます。

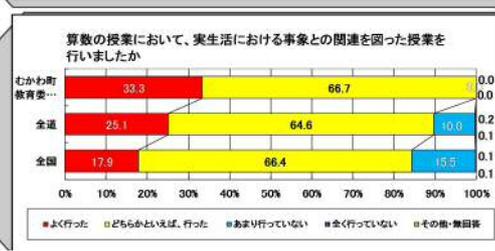
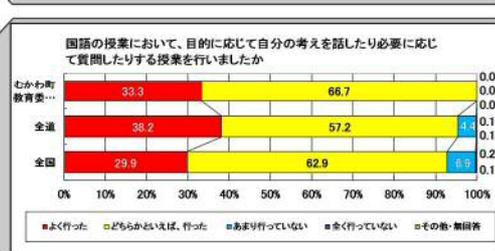
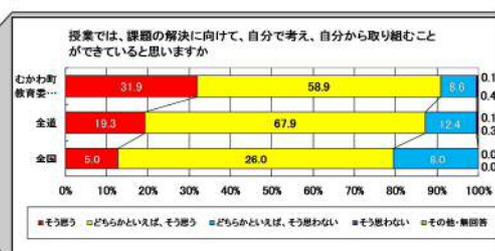
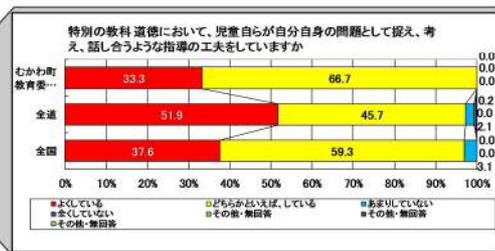
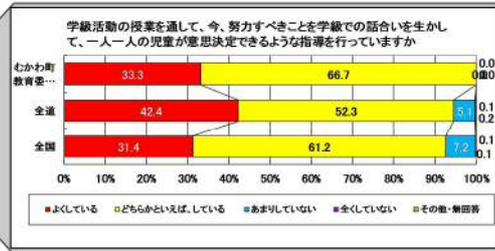
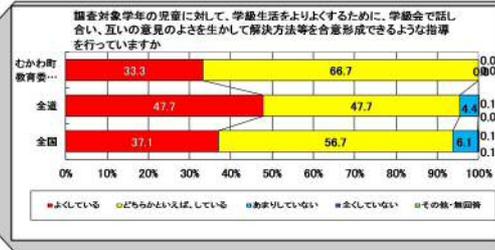
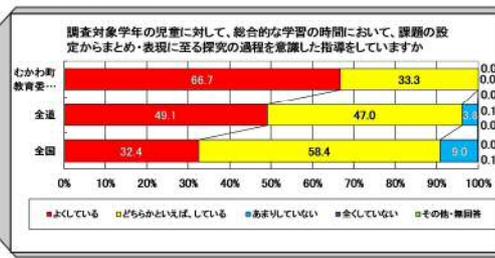
○「総合的な学習の時間の調べ学習」、「学級活動における自分が努力すべきことへの取り組み方」、「道徳の授業における話し合い活動への取り組み方」などでは、全国より高い傾向にあるのは、児童の側に立った指導の工夫が各学校で行われていることが要因の一つと考えられます。

【学習指導等】

<児童質問紙>



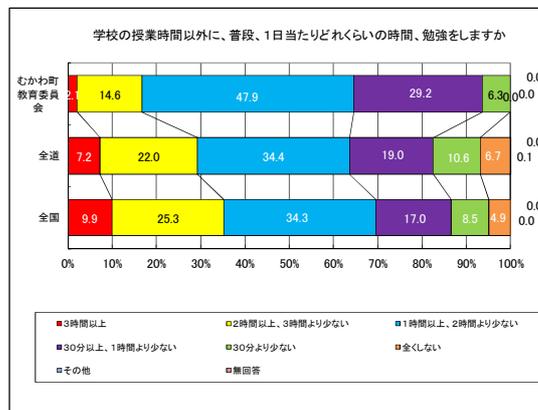
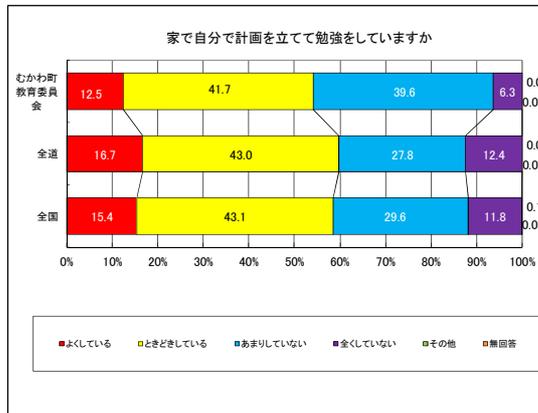
<学校質問紙>



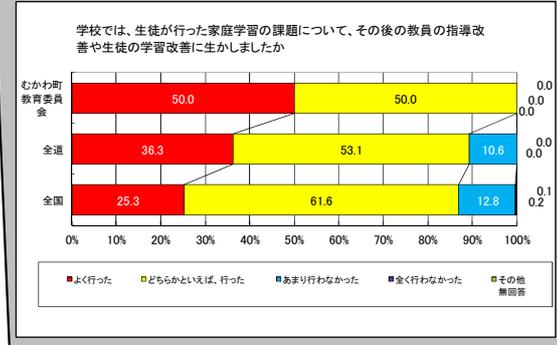
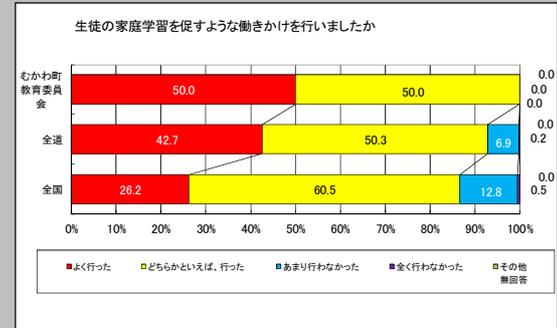
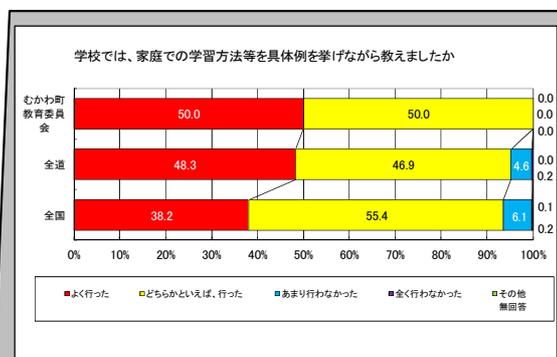
児童生徒質問紙と学校質問紙の関連（中学校）

【家庭学習】

<生徒質問紙>



<学校質問紙>



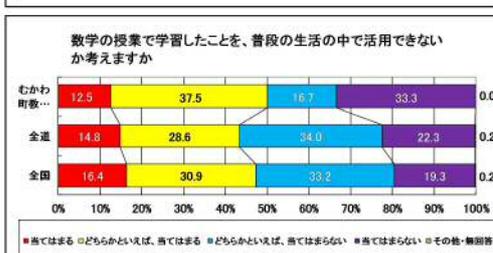
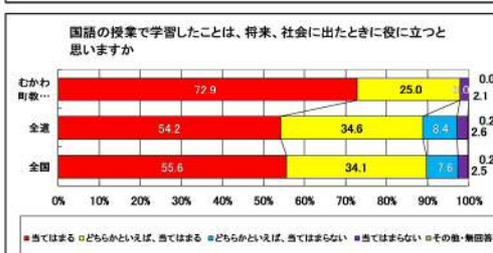
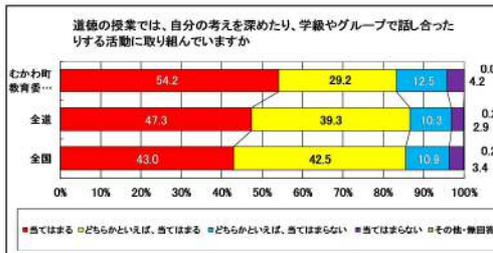
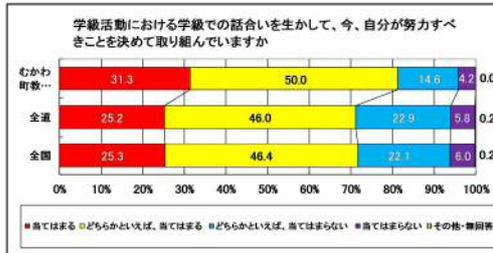
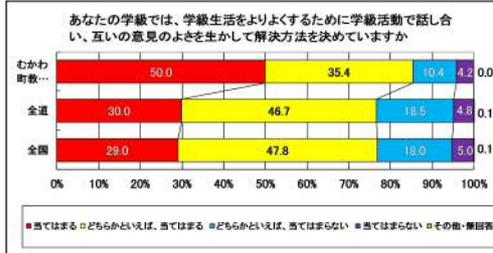
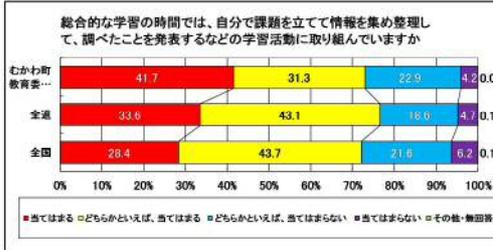
【生徒質問紙と学校質問紙の関連における顕著な傾向】

○「学校の授業以外の1日当たりの勉強時間」について、全くしていない児童はゼロで、1時間以上学習している児童は全国とほぼ同様の傾向です。これは、「家庭学習に対する働きかけ」を各学校で工夫していることが要因の一つと考えられます。

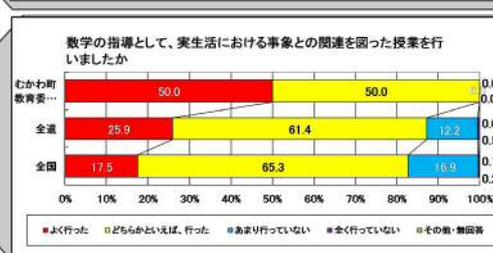
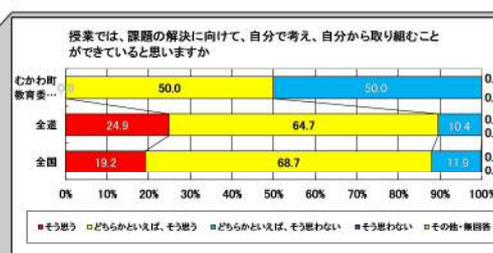
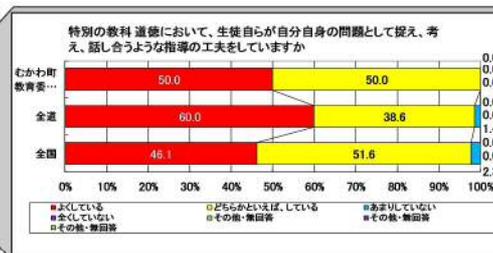
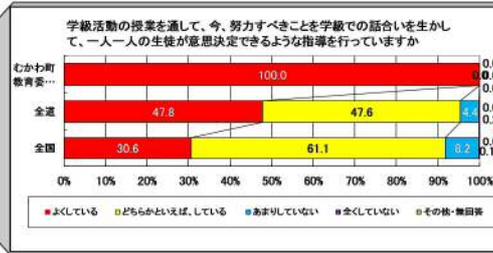
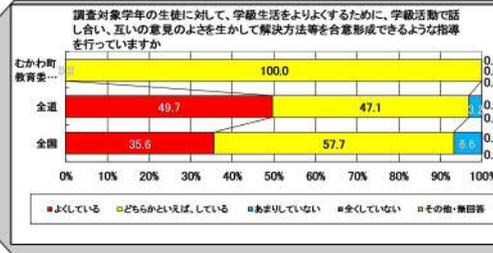
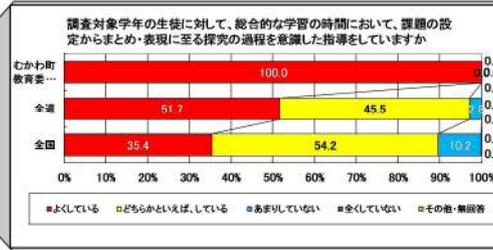
○「学級活動や道徳の授業における話し合い活動への取り組み方」などでは、全国より高い傾向にあるのは、学級活動や道徳の授業における指導の工夫が各学校で行われていることが要因の一つと考えられます。

【学習指導等】

＜生徒質問紙＞



＜学校質問紙＞



むかわ町の学力向上の取組について

(1) 現在までの取組

むかわ町の取組の特徴は、学校と教育委員会が連携し、次の3つのベクトルから学力向上を図っていることです。

授業改善を中心とした「校内方向のベクトル」

小中連携を中心とした「縦方向のベクトル」

家庭・地域との連携を中心とした「横方向のベクトル」

具体的には、

ア 各学校における学校の実態に応じた学力向上策

※学力向上対策協議会等で情報交流

イ むかわ町教育改善検討委員会を組織

事務局：教職員研修会 道外視察

学力向上対策関連：学力調査・C R Tの考察 学力向上策交流

ステップアップ関連：学習生活規律 小中授業交流

乗り入れ授業・相互参観

家庭学習支援関連：家庭学習に関する手立ての交流 啓発資料

ウ 「家庭学習の手引き」の作成・配布

エ 生活実態アンケートの実施と分析・考察（分析結果を全家庭配布）

オ 9年間見通した学習生活規律の確立

カ 標準学力検査（C R T）の実施と分析による指導方法の改善

キ 全国学力・学習状況調査および標準学力検査の結果にかかわる分析と公表

ク よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート「h y p e r - Q U」の実施

ケ 学習支援員等の配置による学習指導の充実への支援

コ 通学合宿等を実施し、望ましい生活習慣・家庭学習等の定着を図る環境整備

(2) 今後の取組

今年度、全国より低い傾向でしたが、3つのベクトル（内・縦・横）から学力向上を図る本町の特色を、学校・家庭・地域・教育委員会が連携しながら進め、今後も、適時検討を行い見直し・修正を加えながら、取組の充実を図ることが重要と考えます。

また、学校と家庭・地域との連携はますます重要で、規則正しい生活習慣・学習習慣の定着のため、適切な情報発信による啓発活動に取り組んだり、コミュニティ・スクールにおける学校運営協議会とのかかわりを大切にしたりしていきます。加えて、I C Tの積極的な活用により個別最適な学びの充実が図られるよう取り組みます。

